

大野城市民読書活動推進計画 施策進捗状況シート

P 計画の基本事項				
基本目標	2 読書に親しむ環境づくり			
施策	(1) 身近な読書活動の場の充実			
施策の方向性	これまで読書に興味のなかった市民や図書館を利用できなかった市民も、気軽に読書を楽しめる環境の整備に取り組みます。そのため、図書館だけでなく市内の諸施設との連携を深め、地域の読書の場のあり方を見直すとともに、それぞれの魅力を高め、効果的な読書推進を図ります。			
主な取組	①図書館の充実	②学校図書室の充実		
	③地域貸出文庫の充実	④コミュニティセンターのコーナー充実		
	⑤気軽に読書・調べ学習できる場の充実	⑥移動図書館の活用促進		
	⑦本を届けるサービスの実施	⑧イベントの実施		
	⑨電子図書館サービスの導入・運用			
成果指標	図書館の利用者満足度		策定時点	目標値(R9)
			79.9%	83.0%
成果指標	地域貸出文庫の年間貸出冊数			
			8,258冊	8,400冊
D 令和4年度(具体的な事業実施状況調査より)				
評価指標	重点事業	指標	実績(R4)	目標値(R5)
	地域貸出文庫の図書資料の充実	年間購入冊数		1400冊
	コミュニティセンターの図書資料の充実	年間新規蔵書数		100冊
	移動図書館のイベント等への出張	年間出張回数	—	—
主な取組の実施状況及び今後の方針	①図書館の充実		達成状況	
	◆キッズタイム事業(乳幼児連れの保護者など、多様な利用者が気兼ねなく図書館を利用できるよう、他の利用者に温かく見守るよう呼びかける事業)など実施等、誰もが気兼ねなく利用できる雰囲気づくりを推進していく。		※令和4年度は計画対象外	
	②学校図書室の充実		達成状況	
	◆学校図書室では「大野城市立学校図書館図書選定基準」に基づき、一貫した選書基準のもと図書資料等を購入している。また、多くの学校で児童・生徒のリクエストが多い本や教科書で紹介されている本等を計画的に購入しているが、予算の減少と学級数の増加等により、図書標準冊数を下回らないようにするために老朽化や情報が古い資料の除籍が進まない学校もあり、資料の刷新が課題となっている。限られた予算のなかで図書標準冊数を保ちつつ、資料の廃棄や、利用が見込まれる資料の購入等を計画的に進めるほか、まどかびあ図書館の団体貸出等を有効活用していく。 ◆現在、各学校図書室には学校司書用の校務用端末1台、カウンターにある貸出用端末1台が設置されているが、児童や生徒が自ら学校図書室やまどかびあの蔵書検索をできない状況である。児童・生徒用の検索端末の配備希望もあっており、今後は図書館システムの連携の必要性やタブレットの活用等の検討を進めていく。		○	
◎期待以上 ○期待どおり △もう少し	③地域貸出文庫の充実		達成状況	
	◆各区への指定管理者交付金を活用し、地域貸出文庫の資料購入やイベントが実施されているが、文庫室の設置状況や活動にばらつきがあることから、事例の紹介等、各区や地域貸出文庫連絡協議会と連携しながら、地域貸出文庫の充実を図っていく。 ◆市のホームページに掲載していた各地域貸出文庫の活動状況を更新し、活動風景や文庫室などの写真等を掲載することで市民が親しみを持ち、認知度向上に取り組んだ。今後も随時、更新していく。 ◆図書館の団体貸出やリサイクル本の活用のほか、図書司書による選書、本の修理や管理等に対する相談・支援などの利用促進の働きかけを行っていく。		○	

④コミュニティセンターのコーナー充実	達成状況
<p>◆全てのコミュニティセンターの学習コーナーまたは子どもコーナーに図書を設置している。令和4年10月より一時中断していた図書設置を再開したが、コロナの影響により特に子どもコーナーの貸出件数は大幅に減少している。コミュニティセンターにより状況は異なるが、市で積極的な取組を推進しておらず、図書の入替が積極的に行われていないため、図書の劣化が目立つほか新鮮味がない状態になっている。今後は、まどかぴあ図書館のリサイクル本の活用や寄付を募る等、魅力ある図書が増えるよう入替を行っていくとともに、コーナーや貸出について積極的にPRしていく。</p> <p>◆これまで読書活動に特化した事業は実施していなかったが、今後は読み聞かせ会など、子どもたちに読書の楽しさを伝える事業の実施を検討していく。</p>	△
⑤気軽に読書・調べ学習できる場の充実	達成状況
<p>◆心のふるさと館では、目加田アーカイブや大野城ラボ等があることから、今後、図書館と連携した読書環境の整備を進めていく。</p> <p>◆保育所（園）や幼稚園では年間平均約60冊の絵本を購入・整備し、自由に絵本を手にとれる環境をつくるなど、子どもが絵本を楽しむ工夫が行われている。引き続き、全ての園で実施できるよう取り組んでいく。</p> <p>◆ランドセルクラブでは8割で読み聞かせが行われているが、蔵書数の増減に差が生じているため、図書館のリサイクル本の活用等、蔵書の充実を図っていく。</p> <p>◆れいわ子ども情報センターでは、3階のひろば事業実施に絵本コーナーを設置するほか、1階の親子サロンにも常設の絵本コーナーを設置している。配架する本の選定が課題であるが、定期的に本の入替を行いながら本を身近に感じてもらえるよう工夫していく。</p> <p>◆子ども療育センターでは、療育事業の自由遊びの時間などに絵本が読めるようフリースペースに絵本を配架しており、絵本に親しむ親子が複数いた。今後も絵本の配架と読み聞かせを継続し、子どもの発達を促し、親子のコミュニケーションツールとして読書を活用していく。窓口等でも周知をしていく。</p> <p>◆大町公園とふるかわ公園に文庫を設置し、利用者アンケートでは約8割が満足と回答している。今後も多くの人に楽しんでもらえるよう、色々な世代のニーズに応じた本を揃えていく。</p>	○
⑥移動図書館の活用促進	達成状況
<p>◆移動図書館は、コミュニティセンターや公民館、公園等の27箇所のステーションを巡回している。令和4年度の稼働日数は212日で、貸出人数は4,328人、貸出冊数は23,411冊であった。また、令和4年度より南コミュニティセンターへの日曜巡回を開始したところ、利用者が多く好調である。一方、北地区の利用が落ち込んでいるため、需要のある資料を検討し、利用の回復に努めたい。</p> <p>◆通常のステーションへの巡回以外に、まどかフェスティバルなどの市イベントで移動図書館を展示し説明等を行った。今度もイベント等への出張等を検討していく。</p>	○
⑦本を届けるサービスの実施	達成状況
<p>◆図書館では令和4年4月から図書館資料の郵送貸出サービスを開始した。今後も引き続き、図書館から遠方にお住まいの市民へのサービスを検討していく。</p> <p>◆全てのコミュニティセンターに返却ポストを設置し、図書館の本を返却できるようにしている。コミュニティセンターによって冊数のバラつきはあるもののいずれも増加傾向にある（令和4年度利用冊数21,289冊※内訳は南コミ12,135冊、中央コミ6,178冊、北コミ1,350冊、東コミ1,626冊）。</p>	○
⑧イベントの実施	達成状況
<p>◆市では令和4年度、南・中央コミュニティセンターにて移動図書館の巡回に合わせて読み聞かせボランティアによる読み聞かせを行い、本と出会う機会の提供及び人と人の交流の創出を目的とした「読書ひろば」を実施した。今後は、コミュニティセンター等で本に親しむイベントの実施を検討していく。</p>	※令和4年度は計画対象外
⑨電子図書館サービスの導入・運用	達成状況
<p>◆令和4年度は電子図書館サービスの業者選定、構築等を進め、令和5年4月からしあわせ電子図書館サービスを開始した。今後も粕屋町、志免町、新宮町と連携しながら運用していく。</p>	※令和4年度は計画対象外

### C 評価

推進委員会  
評価

- ◆小さい子どもがいると周囲の影響等を考え、図書館へ行くことを遠慮しがちになるため、図書館でキッズタイム事業のような取組が実施されると心配も和らぐ。良い取組みになると思う。
- ◆地域貸出文庫は、区によって実施状況は異なるものの、全での区で運営されているのは全国的に珍しい。それにも関わらず、知らない人が多いのはもったいない。もっと多くの人に知ってもらうためには、他事業との抱き合わせ等の違うアプローチが必要。
- ◆コミュニティセンターでは、令和5年度から色々な取組を実施されている。今後も継続されることを期待している。寄付の募集は、効率的な方法を検討してほしい。

検討が  
必要な事項

- ◆キッズタイム事業の実施に向けた検討（実施主体：図書館）
- ◆地域貸出文庫の充実（→1-（4）より）
- ◆地域貸出文庫の周知方法（実施主体：市、図書館、地域）

### A 改善

改善に向け  
た取組等

- ◆図書館では、今後、キッズタイム事業の実施に向けた具体的な検討を進める。
- ◆市では、地域貸出文庫連絡協議会や区長会と連携しながら、地域貸出文庫の充実に向けた取組のほか、より多くの市民に利用してもらえるよう周知方法等について検討していく。